

2016 年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」

大阪大学生物工学国際交流センターでは、JSTから事業の採択を受けて、大阪大学研究施設での講義と、バイオ企業生産施設見学を組み入れた交流事業を行いました。

世界に誇る我が国の優れた先端バイオテクノロジー研究を紹介するために、先端バイオ講義や当センター並びに本学工学研究科・応用生物学の各研究室の訪問・見学や、テクノアライアンスなどの企業と連携した先端バイオ研究施設見学を行いました。また、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 GMP対応抗体生産施設、理研スーパーコンピューター京、医療機器メーカー最大手のシスメックス及び分析機器メーカーとして国内最大手の島津製作所の見学を行い、バイオテクノロジー分野における産官学に渡る日本の科学技術を紹介しました。さらには国立民族博物館と万博記念公園の見学を実施し、最終日には、自主的な知識として定着することを意図して、本プロジェクトに関して参加者によるプレゼンを実施しました。

◆ 2016年度 活動内容

2016年10月24日 [講義] 生命先端工学専攻 古賀雄一准教授

講義タイトル：Structural and functional studies of enzymes from extremophiles and their application



2016年10月25日 [講義] 生命先端工学専攻 杉山峰崇准教授

講義タイトル：Yeast bioscience and biotechnology



2016年10月25日 [講義] 生命先端工学専攻 岡野憲司助教
講義タイトル: Industrial application of enzymes



2016年10月26日 [見学] 大阪大学工学図書館



大阪大学テクノアライアンス棟



2016年10月27日 [見学] 神戸
GMP施設 (次世代バイオ医薬品製造技術研究組合)



理研計算科学研究機構スーパーコンピューター京



シスメックス株式会社



2016年10月28日 [見学] 京都 株式会社島津製作所



2016年10月29日 [見学] 万博記念公園 国立民族博物館



2016年10月31日 [発表] 最終日成果発表



2016年10月31日 [修了証書授与]

